

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 12月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493200079		
法人名	社会福祉法人みどり会		
事業所名	グループホーム府中みどり園		
所在地	安芸郡府中町浜田1丁目6番7号 (電話) 082-281-6700		
自己評価作成日	令和3年12月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3493200079-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年12月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム府中みどり園は平成23年4月にオープンしてから入居様が出来る限り自由に自分らしく生活していただけるような支援をしてきました。入居様が住んでいた地域と離れることが無いように、地域のなじみの場所を大切に繋がる活動や、外出、趣味の活動などを行ってきました。地域との連携もコロナ禍で難しい場面がありましたが、グループホーム連絡会で立ち上げた認知症カフェ椿やこの10月には『うちへ帰ろう』という企画をして、入居者様全員をご自宅へ帰っていただく活動もしました。現在は近くに来れた当法人の小規模多機能ホームとの連携や社協とのつながり、実習生の受け入れも行っております。いかに地域との敷居をなくしていくかが、大切な課題となっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

もしも自分や、自分の大切な人が暮らす場所だったらどんな過ごし方をするだろうかと、常に管理者や職員が想像し、自分たちが暮らしたい場所作りを実践している。住み慣れた地域の住民へ、災害時の協力を依頼したり、保育園や小中学校との交流を続け、登校時の見守りを利用者と職員が一緒に行っている。相互に協力関係を築き施設自体が地域と共に在り、社会資源の一つとしての役割を担っている。日頃から利用者から発信される小さな思いを引き出し、思い出の味を再現し食べる事や、自宅に帰るなどの、それぞれの叶えたい思いを実現できるように職員一同がアイデアを出し合い、職員の意見が反映されることでサービスの向上に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	定期的に理念についての研修を行い、理念を踏まえてのユニットの目標を設定し、スタッフが協力し、家と同じ様に暮らせるように取り組んでいる。	法人理念を礎に、全職員の意見を集め、ユニット毎に年度目標を設定し、振り返りと次年度の課題設定を行っている。朝礼では、職員一人ひとりが何に取り組みたいかを確認しながら、常に自分または、自分の家族が暮らしたい場所作りを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍では感染防止の為、外部との交流ができていくこともあったが、行けるときには近隣小学校への挨拶運動や、近くのコンビニへの買物等をし、交流をはかっていた。	挨拶運動は、小学生の登校時の見守りと挨拶を行うもので、利用者と職員が参加し10年間関りを続けている。コロナ禍でも、地域の小中学校の校長先生と顔を合わせ、今後の部活動の発表の場として施設を活用させて欲しいとの依頼があり、交流を継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は「茶飲み処椿」を月1回開催し地域の方とカフェや勉強会を開催していたが、コロナ禍で開催していない。連絡会としての活動は、先日『スマイル21』という祭りにブースを出店した。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は実際に会って開催することはできていないが、府中町役場と連絡しながら、資料作成と関係者への回覧、意見交換、議事録作成で行った状態となっている。	この1年間は、電話や書面で事前に意見を聴取し、状況報告書を送付する事が主となった。家族が参加しやすいように、夜開催するように工夫しており、来年1月から再開予定である。コロナ禍で面会ができない中、職員から普段の様子を書いた手紙や写真を送っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	グループホームの管理者が主となって取り組んでいる。	役場の担当者から、ボランティアポイントについて説明を受けたり、地域の小学校へオンラインで介護講座の依頼があり、ビデオ寸劇を作成して放映し対談や質疑応答を行うなど、協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的な研修や勉強会を行い、スタッフには周知している。居室、玄関に鍵を掛けず、離設に気を付けながら行動制限のない様に見守りを行っている。	勉強会を開催し、正しい知識を習得する機会を設けている。SOSネットワークを活用し地域包括支援センターや地域の商店などに協力を依頼し、エレベーターや玄関も日中は鍵を開けている。不適切なケアについて、職員に自分だったらどうかを考え個別に確認するように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に研修があり、スタッフ間での声を掛け合い一人ひとりが負担にならないように努めている。不適切なケアが行われた時にはリーダー、管理者などが個人面談を行い、再発防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修などに参加した際には制度に関する学びがある。権利擁護や虐待防止についての内部研修もしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者とユニットリーダーが家族様との契約をさせて頂いている。家族様からの質問、疑問などにはその都度お答えし、その時に答えられない時には、後日お答えするように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	施設内にご意見箱の設置をしているが、コロナ禍もあり、利用されていない。半年に1回のケアプラン更新時や、電話にて連絡した際に何か要望などないかを、直接お聞きするようにしている。	電話や、オンライン面会、計画の見直しを行う際に意見を聴くことができ、面会制限がある中で、手を振る面会の実施や、様子が分からない為、しっかり関わってほしいとの要望があり、施設からの便りで関わった結果を報告した実例がある。	

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>随時意見を言える環境であるが、年に1度代表者との3者面談を行っている。</p>	<p>個人面談では、異動の希望やストレスなどを聞くようにしている。今年度は休憩時間を食事時間を含め1時間に変更し、感染予防の為に買い物の頻度を2日に1度に減らし、利用者に関わる時間に充てている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>考課面談を年2回行い、個々の努力や実績を評価している。シフトに関しては平等に負荷がかからないようにし、職場環境の整備もしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内研修、外部研修、資格勉強など実施し、本人が参加したい研修、学んでほしい研修に参加してもらっている。新人スタッフにはチューターが指導している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>毎年同町内の施設での交流研修を行っていた。毎月、オンライン会議で今はつながっていて、活動再開のきっかけづくりをしている最中。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>常にコミュニケーションを取り、入居者様の声に耳を傾け、本人の要望や不安をお聞きし、本人が安心できるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	コロナ禍で、直接家族様とお話しする機会は少なかったが、玄関面会、オンライン面会等でお会いした時にお話をお聞きしている。お会いできなかった家族様には電話にてお話し、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人様や家族様の要望や不安をお聞きし、ケアの方法を話し合うように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	理念に基づいて、一人の人として、尊厳をもって接している。食事作り、洗濯、掃除など一緒に行い暮らしを共にしてしている事を念頭に置き、常に感謝の気持ちで接している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍においては、特に会えない日が続くので、情報、状況を電話などでお伝えし、関係性を築いている。オンライン面会や玄関面会、外から手を振る面会などを行い、最近はやっと居室での面会が出来るようになった。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	外出制限のある中で、ドライブで行きたい場所やお墓参りなど、大切にされている場所にお連れした。コロナ禍で中止となった民謡やスイミングなどには行かれず、馴染みの方にはお会いしていない。	自宅に帰りたい利用者の意見から、「うちへ帰ろうプロジェクト」が企画され、ほぼ全員が職員の付き添いで、日帰りで自宅に帰ることができた。思い出のある庭や天井、衣装を眺め思い出話をしたり、近所の方から声をかけられたり、家族と自宅で過す時間を作るようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	性格や相性を把握し、気の合わない方とのトラブルにならないような席の工夫をし、耳の聞こえにくい方にはスタッフが間に入って会話を繋げ、孤立しないように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	グリーフケアとして半年をめぐりに自宅訪問をしたり、お手紙を送らせて貰っている。家族の会に来ていただいたり、看取りをされたご家族様の話を開ける機会を設けている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話から、ご本人の意向、希望をお聞きし、その方らしい暮らしができるように検討している。	利用者から発信される日々の言葉は、記録に書き留められ、年末にかかるたとして活用している。過去の記録から、意向や好みを検討する際に活かされ、更に家族に聞き取りを行い、担当者を中心にアセスメントを実施してから全職員で意向を検討するよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴や、アセスメントシートを活用し、ご本に様やご家族様にお話を聞きながら情報を収集するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランにそって、出来る事はして頂き、心身の状態の小さな変化等はスタッフ間で共有するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン作成時にはユニットの会議でスタッフからの意見を聞き、モニタリングし、担当者、プラン作成者、ナースがカンファレンスを行い、プランを作成している。</p>	<p>月毎のユニット会議や、半年に1度の計画見直しの時期に、本人と家族の意向や課題となっている事について話し合いを行っている。利用者の習字の特技を活かし食事のメニューや入社式の立て看板を書く事や、コンビニに好みの食べたいものを買に行くなどの計画を立てている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録や生活状況記録を日々記録し、ヒヤリハット、事故、その他特に注意する事例などは職員間で申し送りし、情報を共有し、見直しするように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>病院受診や物品の購入など、家族様が出来ない時はスタッフが代行している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>毎日の買物に地域のスーパーと一緒に連れしたり、民謡、スイミングなどに参加されていた。できるときは近隣のコンビニへの買物物は一緒にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>施設のホームドクターにより週1回の往診を受けている。その他、歯科受診や皮膚科の往診、ご自身のかかりつけ医の受診があればその都度行かれるように支援している。急変があれば近隣の病院や専門医に行くようにしている。</p>	<p>利用開始時に説明し、希望者は同意を得て主治医を変更している。専門医へかかる際は、家族に付き添いを依頼しているが、必要時は職員が同行している。職員が同行する際は、薬や既往歴などの情報が記載されたファイルを持参し、家族へは口頭で情報を伝え受診している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日中は看護師が常駐している為、細かいこともすぐに相談でき、適切な受診、看護が出来ている。夜間の特変にも連絡が出来る体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	看護師が主に病院との情報交換をし、ユニットスタッフ、ご家族様に連絡をし、情報の共有をし、退院時にはスタッフが送迎できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りについて、スタッフ、看護師と話し合いをして、ご家族様の意向を確認したうえで、チームとして出来る限りの支援を行っている。	利用契約時と計画書の更新時に、医療に関する事前確認事項について書面で確認を行っている。重度化した場合は主治医から家族へ説明が行われ、医師、看護師、介護職員、利用者、家族で方針を検討する。利用者、家族の望む事をケアに取り入れ実施するように支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変等はすぐに看護師に連絡し対応してもらっている。事故対策などマニュアルがあり、対応の仕方など確認できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練は必ず1回は体験し、防災委員により、避難の仕方などを会議でスタッフに周知している。職員全員に防災メールが届くようになっている。防災訓練は町内会の方と一緒に行う時もある。	避難訓練には消防署員が様子を見に訪問している。災害協定を締結しており、避難訓練に地域住民も参加し、利用者の見守りを依頼している。車いすの押し方などを施設職員から地域住民に教え協力関係を築いている。水と食品は約3日分の備蓄がある。	

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人の人生の先輩として尊敬の念を持って接している。丁寧な言葉遣いで接し、トイレなどの声かけには他の方に分からないように配慮している。	居室内のポータブルトイレに、日中はカバーをかけている。言葉遣いに関する研修を行い、丁寧語で分かりやすい言葉で声を掛けるように取り組んでいる。不適切な声掛け等を見かけた場合は、職員と個別に話し合う場を設け、利用者の立場に立ってどう感じるかを考えるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に声かけをし、ご本人がやりたい事など希望をお聞きし、出来る事は実現出来るよう支援している。困難な方にはニーズを読み取るように努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々に合った1日の生活をして頂ける様に支援している。起きる時間、寝る時間など、その方のペースに合わせ、職員都合にならないように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時に服を選んでもらったり、お化粧品のお手伝いや、希望者には毛染めなどもしている。月1回の散髪も希望があればしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事作りを一緒に行い、その方の出来る事をして頂き、食べる時には感謝の気持ちを伝えている。食器洗いなどの後片づけもして頂いている。	朝食は、個々のペースで食べたい時に提供している。思い出の味を再現して食べたり、デリバリーでハンバーガーを頼むこともある。得意料理を利用者が作るなど、利用者の好みや能力を活かして食事ができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分量、食事は生活状況記録に記入し、情報を共有し、水分量の少ない方には摂取を促すように支援している。食事は本人の状態に合わせてミキサー食、トロミ食などを提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>朝晩は必ず口腔ケアを行っている。一人でできない方にはスタッフが介助したり、仕上げ磨きをさせてもらっている。義歯は寝る前に預かり消毒をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>生活状況記録に排泄記録をし、一人一人の排泄パターンを把握し、なるべくトイレで排泄できるように支援している。</p>	<p>日中は、可能な限りトイレで排泄ができるようにしており、一人ひとりの排泄パターンから時間を見てトイレに誘導し失敗を減らす工夫をしている。必要な方には、ポータブルトイレとセンサーマット、手すりを併用し排泄の自立を支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取をしっかりと頂き、朝は牛乳や乳製品を飲んで頂いている。テレビ体操やラジオ体操などして頂き体を動かしてもらっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々の希望するタイミングでは入浴できないが、体調の良い時に声かけをしっかりと、早く入浴して頂ける様になっている。本人様の状態に合わせてシャワー浴、足浴、清拭等に対応している。</p>	<p>入浴剤を使用したり、冬至に柚子湯を行っている。希望があれば夜の入浴も実施しており、3、4名の実例がある。年末にお風呂祭りが開催され、ジャグジー付きの風呂に入ったり足湯やネイル、おでんを食べるなど、楽しめる工夫を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>その方の寝たい時、眠たい時に居室にてゆっくり休まれるようにしている。居室の空調の温度管理、気持ちよく眠れるように布団カバーの週1回の洗濯も行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬については個人ファイルにて確認している。服薬時には間違いのないように二名で確認し、症状の変化があればすぐに看護師に報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>散歩、外出、針仕事、カラオケ、野菜や花の植え替え、食器洗い、洗濯干しや洗濯たたみなど、出来る事、好きな事を出来るように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出はほとんどしていないが、行かれるようになれば紅葉や自宅などに帰る機会を設けたい。最近では食事が関連する外出以外は外出も行うようになった。</p>	<p>コロナ禍で外出が制限される中でも、感染予防対策を行いながら、スーパーや、隣のコンビニエンスストアへ食材、嗜好品を買いに行ったり、日帰りのドライブで馴染みの場所を車中から眺める等の支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お小遣いは事務所に預けているが、本人がほしい物や、買い物がある時は支払いができる方はして頂くよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話がしたいと希望のある方はスタッフがかけてお話して頂き、携帯を持たれている方は自由にやり取りできるように、充電などのお手伝いをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>日々こまめに掃除をし、必要に応じて遮光、換気をし、室温、湿度の調整をしている。季節の花を飾ったり、季節の料理などをして居心地よく暮らせるように工夫している。</p>	<p>ソファが居間以外の共用部分にも設置され、静かに過ごしたい方や歩き疲れた方が休む際に利用している。利用者家族が持参したバナナの木が置かれ、季節の飾りを利用者と職員が手造りし飾っている。清掃は夜間に毎日実施している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合う方とソファで過ごせるようにしたり、居室では、テレビを見たり、音楽を聞いたりして自由に過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みのある家具や衣類などを持ってきていただいており、居心地よく配置している。</p>	<p>毎朝換気を行い、シーツ交換は週に1回実施している。必要な方には、居室の出入りにセンサーライトを設置している。洋服が好きな利用者は、服とアクセサリーをコーディネートして飾るなど、好みを尊重して配置し、居心地よく過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下や居室内に手摺を設置し、ベッドの位置や高さはご本人の使いやすい場所に設置し安全な環境を作っている。夜間一人でPトイレに行かれるように配置し、自立の支援もしている。</p>		

V アウトカム項目(そら豆) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ユニット会議や全体会議で理念の共有を行っている。入居者様の生活について話し合いをする際もスタッフ一人ひとりが理念をしっかりと認識しているので、その方にとってどうしたらいいのかと具体的に話が出来ている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍では感染防止の為、外部との交流ができにくいこともあったが、行けるときには近隣小学校への挨拶運動や、近くのコンビニへの買物等をし、交流をはかっていた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍で地域の方を対象とした認知症カフェの開催が出来ていないが、コロナ前は月に1回のペースで実施をしていた。管理者は11月に府中町社協が開催した認知症フォーラムの委員で準備に加わり、地域の認知症の方々が住みやすい町づくりについて共に考える活動を行った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍中は、集まる事が難しかった為、運営推進会議用に作成した資料の各家族様に送り、意見を頂いていた。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	コロナ禍中は、集まる事が難しかった為、電話、メールなどで連絡を取る等していた。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日中は、玄関に鍵を掛けておらず、開かれた園である。身体拘束をされている入居者様は現在おられない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体研修や認知症ケア勉強会で高齢者虐待についての研修が行われており、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	全体研修で学ぶ機会がある。尊厳を守ることとして、倫理観を大切に研修も開催している、		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約をする際には、家族様の不安に思われている事や疑問点をお聞きし答える様にし、家族様が納得できるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍で直接家族様と話す場面が少なかったが、電話連絡の時などに何かないかをお聞きした。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に一度、全スタッフを対象とした面談があり、そこで運営に関する意見等を話す。個々に聴いた内容を少しずつ反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフ一人ひとりのやりがいを持って働ける様に、係や担当を持って実践している。スタッフが受けたいと思う研修等にはなるべく参加してもらえる様にしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人職員には必ずチューターを設置し、チューターが中心となって教えられるような仕組みがある。チューターとリーダー間で情報共有も行って教えて行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ禍で直接対談する事は難しかったがオンライン形式での意見交換等を行っていた。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	常にコミュニケーションを取り、入居者様の声に耳を傾け、本人の要望や不安をお聞きし、本人が安心できるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に家族様と面談を行い、家族様が困っている事、不安に思っている事をお聞きしている。その時にグループホームに入居された時に家族様としてどのような要望があるかをお聞きし、入居後の関わりに生かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族様から話を聞き、それを基に作成をした介護計画書に沿って関わりを持つように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>みどり園の理念にもありますが、まずはその人の立場になって考え、一緒に買物に出掛けたり、一緒に洗濯物を干したり畳んだり、一緒に料理を作ったりといった事をしながら関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様が来園された時やこちらから電話連絡をさせて頂いた時に、何かご要望やご意見がないかをお聞きし、日々のケアに反映させ一緒支えられる関係を築く様に心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍で外出が難しい時期もあり、馴染みの場所へお連れする事が出来ず関係が途切れてしまった事もあったが、なるべく継続出来る様に話の場面でしっかりと話すように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>関係の築けておられる入居者様との過ごされる席等を日常的に考えながらなるべく孤立しない様に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>一周忌の手紙を送ったり、その後に年賀状や暑中見舞いなどのやり取りをしている家族様がおられたり、来園して下さる家族様もおられる。相談に来られた場合はお話をお聞きするようにしている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日常の会話の中で本人様が言葉にされた事を書き残したりしている。またその事が実現出来る場合はスタッフで協力をしながら行っている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前にもお聞きするが、入居後も本人様とお話や、家族様との話で今までの生活等の把握をして、現在の生活に活かせるように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々、入居者様の状態が変わるので、体調の変化には特に注意し、必要であれば看護師とも連携し対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>月に一度のユニット会議の時に入居者様自身が課題となっている事の把握や検討したい事等スタッフと話し合い、アセスメントシートへの反映を行い、介護計画書を作成するようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活状況記録(食事・排泄・口腔ケア・バイタルが記入できるもの)と介護記録(ほのぼの、PC入力)を日々の記録として活用し、職員間で共有し、入居者様のケアに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>急な受診が必要な場合は家族様での対応が難しい時に限り、スタッフの方で対応を行い、受診後に家族様に受診の状況をお伝えしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>昔から利用されていたスーパーへの買物にお連れしたり、地域で行われる行事に参加して頂けるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科に関しては、嘱託医にして頂く事が多いがその他の科に関しては以前行かれていた病院等に行って頂く事が出来る様に家族様と話をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の関わりの中で感じた変化があれば看護師に連絡をして対応を行っている。夜間に関しても普段の状況と異なる状態があれば電話連絡をして対応できるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コロナ禍でなければ、直接病院に行き面会をするのだが、コロナ禍ではそれが難しい為、面会が可能な家族様に電話連絡を行い、本人様の状況把握を行っている。また、病院から入居者様の事で問い合わせがあった場合はしっかりと関わって頂ける様に情報提供をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に終末期に関する話をすると共に、半年に1度の介護計画書の更新の際に医療に関する事前確認事項として家族様のお気持ちの確認をしている。終末期が近づいて来た時に再度話す場を設け、家族様のお気持ち等を組み込んだ介護計画書を作成して、支援出来る様にしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変等はすぐに看護師に連絡し対応してもらっている。事故対策などマニュアルがあり、対応の仕方など確認できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災委員会を中心としてユニット会議やその他勉強会でどのように自分たちが行動をしていくのか？どのように入居者様の誘導等をしていくのかを常に考える様にしている。避難訓練では町内会と合同で行う時もあるので、地域の方とも協力出来るような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に言葉遣いには気を付けているが、言葉が崩れている時もある。必要に応じて、スタッフ個人とリーダー、管理者で面談を行う事もある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉を発する事が難しい方については、本人様の表情をみたり、その方の立場になって考える様にしている。また、その他の方についても、危険がない範囲で本人様がしたい様にして頂ける様に心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の生活の場というのを自覚すると共に、入居者様一人ひとりのペースを尊重して過ごして頂ける様にしている。また、本人様の想いに寄り添い、実現可能な事は出来る範囲で実現するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	白髪が目立って来たら、白髪染めをしている。髪の毛が伸びたら、散髪をして頂いている。毎日の洗顔後等も化粧水・乳液等を付けて頂ける様に声かけを行なう支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は一緒にテーブルで入居者様とスタッフで食べて、色々な話をしていたが、コロナ禍になって一緒に食べる事は出来なくなったが、食事作りは感染対策を行い、スタッフと入居者様が一緒に作っている。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>本人様の身体状況や体重の変化を把握して、その方に応じた食事量で提供をしている。水分提供時はその方に応じた量で提供し一日の水分量にも注意をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>本人様に応じた歯磨きをさせて頂いている。義歯の方で歯磨きが難しい方については、義歯をしたままで歯磨きをして頂くなどの対応をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレで排泄できるように一人ひとりの排泄パターンを把握して対応をしている。自分で行かれない方については、声を掛けてトイレに行って頂くなどの支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>グループホームでは毎日食事を作るので、その食事での工夫をしたり、自然排便を促す為に乳製品を摂取して頂く等の対応をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>スタッフの都合で入浴をして頂けない時もあったが、入って頂ける時には、その方が好まれる温度にしたりと環境に気を付けて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>椅子やソファでウトウトされて いる方が居られたら声を掛けて その方の居室で休んで頂ける 様に支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	<p>その方の状況を見極めながら 看護師にも報告を行い、錠剤か ら粉末に変更するなどしてその 方が服用できる方法で対応を 行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>その方が続けて来られた事や 出来る事を継続して行くと共に 、日々の生活で色々な活動をし て楽しく過ごして頂ける様に 支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>地域のスーパーや馴染みの美 容院などにコロナ禍前はお連れ 出来ていたが、色々な制限があ り、難しい時期もあった。感 染対策をして、本人様の要望 を実現出来るように支援して いる。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>事務所に預り金としてお金を 預かっており、本人様が欲しい 物とかがあれば、いつでも買 いに行く事が出来る。</p>		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族様から連絡があった場合には本人様と話をされるかとお聞きし、話したいと言われた時には話せるように環境を整え支援している。また、園に届いた手紙も本人様にお渡しをして読んで頂ける様にした。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>朝日・夕日が眩しい時にはカーテンを閉めたり、暑い・寒いと言われた時には温度・湿度の調整をしている。また、季節を感じて頂ける様に季節の花を飾ったりイベントに応じた工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>関係の築けておられる入居者様同士と一緒に過ごせる様に席の配置に注意している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時になるべく使い慣れた物を持って来て頂くなどその方がその方らしく生活出来るような環境にして居心地よく擦ろして頂ける様に支援している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりの配置は必要に応じて個別に設置をしている。その他のトイレやお風呂についても場所の認識が出来るように表示するなどの工夫がある。</p>		

V アウトカム項目(えんどう豆) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム府中みどり園

作成日 令和4年2月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	本人を支え合う家族との関係については、どこまで家族に関わっても足りないと感じている。コロナ禍という状況の中で特に足りないと感じている。意見なども伝えてもらえるようにしていきたい。	ご家族に通信や何かあった時の電話ではなく、定期的に伝える・聴くことが出来る仕組みをリーダーと考える。	年末には「うちへ帰ろう」という企画をして好評だったので企画ものも良いが定期的にご家族と繋がる手紙、オンライン、何か仕組みを考えたい。	3か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。